



にいがた  
**県電だより**

〈新春号〉

平成 31 年 1 月  
 第 215 号

新 潟 県  
 電気工事工業組合



## 『第3回電気工事 技能競技全国大会』

手を伸ばし、腰を屈め、そして、足を踏ん張って取組んだ3時間の技能競技。若き技術者の才能は良き指導者を得て開花し、「電気工事技能競技全国大会」のチャンピオンフラッグが、東北ブロック代表として大会に出場した小嶋一彦選手の手によって持ち帰られました。

炎天下の野外練習から底冷えの室内練習の5カ月間、才能は確実に進化し、確かな手応えを感じ、そして全国大会で見事頂点の栄冠に輝きました。

快挙は称えられ、そして語り継がれます。

撮影場所／東京都両国国技館

撮影日／平成 30 年 11 月

撮影者／新潟県電気工事工業組合  
 県本部 事務局



# 目 次

1. 年頭のご挨拶 .....	1
2. 地域懇談会を開催 .....	11
3. 各セミナー開催 .....	12
4. 第3回電気工事技能競技全国大会 .....	14
5. 各種表彰 .....	17
6. 各支部だより .....	19
7. 各青年部だより .....	21
8. 新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習の開催について .....	27
9. 2019年度 消防関係試験実施計画 .....	28
10. 組合の保険って?! .....	29
11. 組合員の異動・変更 .....	31

## 【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

年頭のご挨拶



## 2019年 年頭のご挨拶

理事長  
小林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当組合の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2018年の世相を表す漢字一字に「災」が選ばれました。6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震と台風21号の上陸、豪雪と記録的猛暑など、日本各地で大規模な自然災害が連続して発生し、各地に甚大な被害をもたらし、多くの人々が被災されました。北海道胆振東部地震では北海道全域で電力が止まる「ブラックアウト」も発生し、改めて電気の大切さと災害に対する常日頃からの備えと防災対策の重要性を痛感した1年となりました。

昨年、当組合は創立70周年を迎え、6月5日通常総代会終了後に、高井盛雄新潟県副知事をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、創立70周年記念式典を開催いたしました。当組合は昭和23年4月に新潟県電気工事工業協同組合として108社で創立（同年5月に登記）し、昭和39年4月に工業組合に組織変更し、70年を経た現在では、県下13支部、826社の組合員を擁する県下有数の組合組織となりました。この70年間の組織の躍進は偉大なものであり、改めて諸先輩方の卓越した先見の明と、幾多の困難を乗り

越え今日の発展の礎を築かれたご努力と、ご功績に対し深く敬意と感謝の意を表します。また、記念事業の一環として「創立70周年記念誌～社会のニーズに応えつづける 和と力～」を10月に発刊いたしました。本記念誌刊行に際し、ご祝辞をお寄せくださいました皆様、ご寄稿、ご協賛、ご協力をいただきました皆様方に、改めて心より深く感謝申し上げます。

11月30日、全日本電気工事業工業組合連合会主催の「第3回電気工事技能競技全国大会」が東京・両国国技館で開催されました。当組合からは、東北ブロックの予選会として9月に宮城県で開催されました「第1回電気工事技能競技東北大会」で金賞を受賞した小嶋一彦選手（本間電機工業(株)・三条支部）が一般の部に出場し、全国各地のブロック予選会を勝ち抜いてきた精鋭の選手30名の頂点に立つ金賞（JAPAN e SKILL CHAMPION）・経済産業大臣賞を受賞いたしました。東北ブロックからは小嶋選手を含め3名の選手が出場いたしましたが、金賞に新潟県、銀賞に岩手県、銅賞に福島県と、東北ブロック代表選手3名が全員入賞を果たすという快挙も成し遂げ、当組合はもとより東北ブロック全体の技能と技術力の高さを全国にアピールことが出来ました。見事金賞・経済産業大臣賞を受賞し、当組合の創立70周年に華を添えてい



ただいた小嶋選手をはじめ、本間電機工業(株)の皆様、当組合の大会関係者の皆様、大会開催にあたりご尽力、ご支援ご協力をいただきました皆様方に、深く感謝申し上げます。

さて、昨年6月の通常総代会におきまして、業界・組合を取り巻く環境が大きく変化するなかで、「組合員にとって、今、何が最も必要か、真のニーズは何かを十分に検討し、みんなが幸せになれる業界を目指す」ための事業計画をご承認いただき、各事業委員会で着実に事業を実施いたしました。

総務委員会では、若手入職者の確保と優れた技術者の育成のため、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を継続実施するとともに、全組合員を対象に「担い手確保に関するアンケート調査」を実施いたしました。また、担い手確保事業の一環として、昨年11月に女性活躍推進のための「中小事業所における経営者・管理者層のための女性活躍推進セミナー」を開催いたしました。

また、組合イントラネット（サイボウズ）の更なる活用のため、ログイン環境の整備を進めるとともに、組合員の皆様にメリットが発生する仕組み作りの検討を進めました。また、ITを活用した事務の効率化を目的に、昨年6月に「WEB会議システム」を県本部と全13支部に導入し運用を始めました。

経営企画推進委員会では、人材育成に関する各種セミナーを開催し、特に、昨今の人口減少、経営者の高齢化、後継者問題、人手不足、労働環境問題への対応などの様々な課題に対応し、これから5年先、10年先の会社の未来を見据え事

業を継続していくため、昨年11月と12月に新規セミナーとして「今すべきことセミナー～10年生き抜くために～」を開催いたしました。また、組合員の万一の場合に備えた福利厚生制度の充実のため、昨年4月より、組合員・従業員等の所得・介護・がんを補償する「生活総合保険制度」の取り扱いを開始いたしました。

技術委員会では、38年目を迎えた「電気使用安全月間」について、重点支部を始め各支部のご協力をいただき、関係団体への安全キャラバン並びに感震装置・避雷器取付推進等を積極的に実施いたしました。また、各種技術講習会・労働安全衛生関係講習会を開催するとともに、各支部で実施しております「低圧電気工事取扱特別教育」の支援を行いました。

引込線事業委員会では、引込線会社連絡協議会と連携し、東北電力(株)の配電付託工事として、スイッチング並びに劣化引込線張替工事を施工いたしました。また、発注元の東北電力(株)との合同パトロールや勉強会を定期的に開催し、安全面での連携と緊密な情報交換を行いました。また、昨年より引込線事業部に安全管理者を専任し、引込線会社への安全パトロール、「低圧引込線以下工事 標準作業マニュアル」改訂版の発行、引込線工事に関する安全教育・技能訓練の充実に取り組みました。

私ども電気工事業界を取り巻く環境は、2020年4月の発送電分離など電力システム改革に伴って、大きな変革期を迎えております。また、担い手確保、後継者育成、技能継承、女性活躍推進、働き方改革などへの対応が喫緊の課題となっており、山積する諸課題の解決に向け、次

の80周年、そして100周年に向けた第一歩として、新たな決意のもとで、本年は次の事業に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を継続実施いたします。本事業も6年度目となり、事業実施後は学生の地元組合員事業所への就職希望者が増加するなど着実に成果を上げておりますが、今後は、実際に学生が組合員事業所に入社した後に、仕事に興味を持って安心して将来の自分の姿を描けることができるよう、受け入れ事業所の就労環境を整備する必要があると考えております。具体的には、昨年実施した「担い手確保に関するアンケート調査」の分析結果から、特に組合員各社の「就業規則」並びに「事業所・従業員間の労働契約」等の整備についての事業を実施し、組合員事業所なら安心して就労出来るという一定の水準を確保してまいりたいと考えております。また、今年3月には「組合員を守るコンプライアンス研修会」も開催いたします。

また、昨年導入いたしました「WEB会議システム」は、WEB上での各種委員会や会議の開催のみならず、本部理事会の模様を各支部へWEB中継するなどの試行的運用も始めており、今後も「WEB会議システム」の更なる活用を推進してまいりたいと考えております。

経営企画推進委員会では、引き続き人材育成に関する各種セミナーを開催するとともに、会社の未来を見据え事業を継続させるための「協業」に関するセミナーの開催も検討いたします。また、組合員・従業員の事故や病気等万一の場合に備えた「生活総合保険制度」も2年目を迎

え、今後も、組合のスケールメリットを活かした福利厚生制度の更なる充実を図ってまいります。

技術委員会では、労働災害防止のための労働安全衛生関係講習会として、監督官庁から実施奨励が示された「職長・安全衛生責任者能力向上教育」を今年3月に新規開催いたします。また、各支部で実施しております「低圧電気工事取扱特別教育」の支援を引き続き行うとともに、前回の実施から約3年が経過しております同特別教育の講師養成講習会の開催についても検討してまいります。また、電気設備の不良工事の未然防止により、お客様・発注者との信頼関係を築き、漏電・感電防止等の電気保安を確保するため、「内線工事における不良率低減」に引き続き取り組んでまいります。

引込線事業委員会では、引き続き引込線会社連絡協議会と連携を図りながら、東北電力㈱の配電付託工事として、スイッチング並びに劣化引込線張替工事の円滑な運用を推進してまいります。また、東北電力㈱との合同パトロールや勉強会を引き続き開催し、信頼関係の構築と仕事量の確保・拡大に向けた協議を進めてまいりたいと考えております。また、今年2月には7回目となります「安全大会」を継続開催し、引き続きゼロ災害の達成に取り組んでまいります。

結びに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力㈱の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 2019年 年頭の御挨拶

新潟県知事

花角英世

平成31年の年頭に当たり、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年6月、県民の皆様から信任をいただき、新潟県知事に就任いたしました。知事就任後、初めての新年を迎え、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を目指す姿として、「県民最優先」の県政を実現していく決意を新たにしております。

昨年暮れに、この目指す姿を基本理念として掲げた、県政の最上位計画である新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」の見直し素案を公表し、県民の皆様から御意見を頂戴したところです。今後、皆様からの御意見や県議会での議論を踏まえて検討を重ね、年度内を目途に成案を公表し、計画を着実に推進してまいります。

昨年を振り返ると、2月に平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが、また、妙高市で新潟妙高はね馬国体が開かれ、本県出身選手の皆様が発揮して活躍する姿は、私たち県民のみならず全国に勇気と感動を与えてくれました。

一方で、全国各地で地震、豪雨災害、暴風雨・高潮災害など「数十年に一度」と言われる大規模な自然災害が頻発し、危機感を持たれた方も多いと思います。このような状況を踏まえ、先般、本県の防災・減災対策の強化に向けて、ハード対策とソフト対策のそれぞれの分野において検討会議を設置し、議論を始めたところです。今後、有識者の方々から御提言をいただき、県の施策に反映してまいります。

私は就任時に、できるだけ地域に足を運び、県民の皆様様の様々な声に丁寧に耳を傾け、積極的に対話を行うことを基本姿勢として県政運営に取り組むということをお願いしました。就任から半年間、市町村長との懇談会や車座トーク等、地域の様々な方々との意見交換を通じて、県政課題についての状況把握に努めてきたところです。今後も、国や市町村と協力しながら、県政の様々な課題に一つ一つ真摯に向き合い、全力

で県政運営に取り組んでまいります。

さて、東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故発生から7年が経過し、昨年9月には北海道胆振東部地震の発生により、道内の全域停電、いわゆるブラックアウトが発生し、住民生活、物流などに深刻な影響を与えました。私たちの生活がいかに電気に大きく依存しているかを改めて認識することとなりました。

こうしたエネルギー供給構造の安全性や安定供給等の社会的要請が高まる中、昨年7月に閣議決定された「第5次エネルギー基本計画」において、再生可能エネルギーを主力電源化する方針が示されるとともに、既存の電力システムを最大限活用する手法、主力電源化に向けた電力設備の強靱化等の検討が進められています。

また、11月には洋上風力に係る「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」が成立するなど、今後の再生可能エネルギーの導入促進が期待されるところであり、社会基盤を支える皆様方の果たす役割が、ますます大きくなってまいります。

県といたしましても、社会の活力と持続性のある強い経済の実現に向けて、引き続き、意欲ある企業の支援に取り組むとともに、再生可能エネルギーの導入促進に向けた支援、環境整備など、県内産業の振興を積極的に推進してまいります。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続き御尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに、貴組合の御発展と皆様様の御多幸をお祈りしまして、新年の御挨拶といたします。



年頭のご挨拶

## 2019年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

高野 広 充

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社は電力の小売全面自由化による競争の激化や、2020年4月までの実施が求められている送配電部門の法的分離（分社化）など、激変する事業環境を踏まえた組織体制を構築するため、段階的な組織整備を行ってきております。

昨年4月には、「発電・販売カンパニー」、「送配電カンパニー」および「原子力本部」の社内カンパニー制を導入し、7月には、販売などの業務を担う「支店」と、送配電業務を担う「送配電カンパニー支社」に再編いたしました。

再編後の新潟支店および新潟支社管内には、販売業務などを担う5か所の「営業所」と、送配電業務を担う12か所の「電力センター」を配置いたしました。

また、今年4月には、一般送配電事業を分社化するための準備会社として、「東北電力ネットワーク株式会社」を設立し、必要な手続きや事前準備を経て、2020年4月に分社化を実施する

予定としております。

このような電気事業を取り巻く環境の変化を踏まえて、当社といたしましては、新たな組織体制のもと、競争力の強化や収益力の拡大を図るとともに、送配電部門の法的分離を見据え、先行的に業務を行うことで、分社時に組織が円滑に移行できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

また、地元新潟の電力会社として、「電力の安定供給」に努めますとともに、「地域に寄り添い」、そして「お客さまにより沿い」、新潟の発展に向けて、従業員一丸となって取り組んでまいります。引き続き、新潟県電気工事工業組合様より、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴組合の皆様が70年間の長きにわたり、新潟県内の電気工事業界の健全な発展と繁栄に取り組まれるとともに、電気工事を通じて、電気をご使用されるお客様へ安心と安全を届け、新潟の経済発展にも寄与されてきたことに、あらためて敬意を表します。貴組合の益々のご発展と、組合員の皆様にとりまして本年が幸多き年となりますよう心より祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

## 2019年 年頭のご挨拶

総務委員長

本間好夫

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は総務委員会の活動に皆さまのご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

平成30年度の委員会は、「担い手部会」と「IT部会」の二つの部会を中心に活動しました。

「IT部会」では各支部のサイボウズ活用状況の調査結果を踏まえ、サイボウズのログイン環境の整備を進めるとともに、利用拡大のための諸施策の検討をしております。本部・支部からの情報提供や連絡だけでなく、サイボウズを利用することで組合員にもメリットが発生する仕組みも必要であるとの観点から、一例として各電材卸業者が抱えているデッドストックの情報をサイボウズ上で提供し、組合員に安価で提供できる仕組みを作りたいと考えております。

また、WEB会議の導入を実施しました。第1回「IT部会」をWEB会議で実施し、成果を検証いたしました。結果は非常にスムーズに会議を進行でき、集中して会議に臨める、移動時間節約でコスト面でもメリットが期待できるなど高い評価をいただき、全支部にWEB会議システムを導入いたしました。

「担い手部会」ではアンケート調査結果の検討

を行い、組合員各社において後継者、人材の確保、雇用環境の整備、人材の育成など、様々な課題が山積している事がわかりました。

こうした中、「女性活躍推進セミナー（12月3日開催）」では組合各社の7名の女性技術者による事例紹介や意見交換会を実施し、女性の業界への入職や定着を検討する機会を作りました。

また、平成31年3月に全日電工連ビジョン具現化チーム主催の「電気工事業者のためのコンプライアンス研修会」を共催し、従業員のための雇用環境整備の必須事項を学ぶ機会を設定しました。

「新規加入組合員集合研修会」、並びに三条・燕で「地域懇談会」を実施いたしました。

また、今年で6年目を迎える「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」につきましては、参加学生の中で地元電気工事会社に就職するなど、具体的な成果も出ております。

今年も総務委員会では、組合員の皆様の役に立つ事業を積極的に進めてまいります。

終わりに、組合員各社のますますのご隆盛とご健勝を祈念申しあげ、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶



## 新年のご挨拶

経営企画推進委員長

山本 進

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の組合員の皆様には、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

平素は、経営企画推進委員会の運営に御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は当委員会にて事業計画を作る時に、今までは従業員を対象としたセミナーが多かったが、事業主、特に社長に将来の経営に対する考え方をもう一度見直す機会となる様なセミナーを企画しようという結論に達しました。

それが「いまするべき事 ～ 10年生抜くために～」というセミナーと成り、(株)パートナーズプロジェクト代表取締役の高野裕氏を講師に迎え、新潟、長岡の両会場にて50余名の方々の出席を得て好評裏に行う事ができました。

10年後の会社経営に対する認識の重要性を再確認できる良い企画だったと思っております。

4月の「電気工事士現場カレレベルアップセミナー」又3月に行われる「電気工事業活性化懇談会」は例年通りに行っていきます。

新分野勉強会として、電気料金が1/4から最高1/120となる「半導体熱恒温素子」のセミナーを行い、今後の進展状況については、皆様方に

ご報告申し上げますし、そのセミナー等も企画して参りたいと思います。

「福利厚生制度の充実」と言う点におきましては、従来の制度に加え、組立保険、全日電工連認定の生活総合保険制度が有ります。

特に生活総合保険制度には、「所得補償」「介護補償」「がん補償」が付いております。

又、従来よりある制度の「第三者損害賠償制度」がますます充実いたしました。

Z型がバージョンアップした、ワイドプランを使用いたしますと、「財物損壊を伴わない使用不能損害」「生産物自体の損害」「人格権の損害」等の補償が加味されております。

詳しくは、県本部の担当者にお問い合わせください。

当委員会では全日電工連のスケールメリットを生かして、更なる補償制度の充実を目指します。

「役に立つ」「実績の残せる事業」を基本として、「組合員の為になる組合」を目指し、楽しく、協力のできる委員会活動を行って参りたいと思っております。

最後に成りますが、皆様方のご繁栄とご健勝を祈念し、実り多き年となります様祈ってご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 2019年 年頭のご挨拶

技術委員長

齊藤 淳

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方におかれましては清々しい新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

日頃は技術委員会事業に皆様のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、技術委員会では、昨年各種技能競技大会視察研修を行いました。

昨年8月の「第18回高校生ものづくりコンテスト新潟県大会」では、生徒は教員や関係者らが見守る中、一つ一つの作業を丁寧に行い、課題を仕上げ、プロさながらの無駄のない動作や集中して課題に取り組む姿勢に感動致しました。今後の将来を担う生徒の皆さんが引き続き技術・技能に磨きをかけ、活躍することを期待したいと思います。

また、昨年9月の「第1回電気工事技能競技東北大会」には、本間電機工業(株)：三条支部の小嶋選手が出場しました。8月の猛暑の最中に屋外練習場で作業に励む姿勢は、目を見張るものがありました。関係者各位のご協力・ご支援もあり、見事金賞に輝き全国大会への出場を決めました。

そして、昨年11月に東京・両国国技館で行われた「第3回電気工事技能競技全国大会」では、小嶋選手が「心・技・体」を遺憾なく発揮した結果、見事に金賞・経済産業大臣賞を受賞しました。東北大会より更に磨きがかかった質の高い作品には、驚嘆のほかはありませんでし

た。全国大会では他の東北ブロック出場選手2名も入賞し、東北に金賞・銀賞・銅賞の金字塔を打ち立て、東北の技術力を十分アピールできたのではないのでしょうか。小嶋選手には更なる向上心を発揮し今後のご活躍を期待いたします。

さて、技術委員会では、「事業者は、職長及び安全衛生責任者の職務に従事する者について、職長及び安全衛生責任者の職務に従事することになった後概ね5年ごと、及び機械設備等に大幅な変更があった時に、職長及び安全衛生責任者の能力向上教育に準じた教育を受けさせるものとする」との厚生労働省の奨励に沿って、従来組合で実施している「職長・安全衛生責任者(初任時)教育」と併せ、「職長・安全衛生責任者(定期)教育」を本年3月の開催を予定しておりますので、作業現場の安全衛生水準の向上を図るため、この機会に受講されるよう、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

また、各種労働安全衛生関係講習会を進めて参りたいと思いますので、ご要望等ございましたらお聞かせ下さい。委員会では協議を重ね、組合員の皆様にお役に立ていきたいと考えております。なお、いくつかの支部より要望がありました、「低圧電気取扱業務特別教育講師養成講習会」の開催を検討しております。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝そして本年更なる飛躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 引込線事業のあらたな展開と、 「安全文化」の構築をめざして

引込線事業委員長

原田 和 広

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、電力業界の動向におきましては、2020年4月に東北電力(株)様が法的分社化されます。その前段として昨年4月にカンパニー制を導入。7月には大規模な組織整備が実施されました。その結果、県内の販売部門は新発田営業所、新潟支店、新潟県央営業所、長岡営業所、柏崎営業所、上越営業所に集約され、従来の営業所お客様センター、配電部門は電力センターに名称が変更になりました。

このような電力自由化という、まだまだ不透明な状況のなか、当委員会では引込線委託工事、スイッチング対応工事および劣化引込線張替工事など、各電力センター様のご指導のもと精力的に展開してまいりました。

今後についてはスイッチング対応工事は2022年には終了し、劣化引込線張替工事もしずれは無くなります。そこで先を見据え、空中分岐引込線工事の委託、全徹工事の直接付託、あるいは引込線以下電力設備のメンテナンスなど将来的な新たな業務の展開について東北電力(株)送配電カンパニー新潟支社様および、各電力センター様と協議を重ね繋げていきたいと思っております。

また、昨年12月6日に開催しました引込線会社連絡協議会での各社の報告から、受注内容や施工能力で温度差があることを実感いたし

ました。そのことから新潟県電気工事工業組合として県下の引込線工事会社が一枚岩となり、一層の連携を図りながら東北電力(株)様からの委託、付託工事に応えていかなければならないと考えております。

安全面では昨年4月より安全管理者に小柳部長が専任され、引込線工事会社への安全パトロールや安全対話を繰り返し展開するとともに、サイボウズを通じて東北電力(株)の災害事例周知や、KYTイラストシートの配布など、従来にない安全情報の水平展開を積極的に図ってきました。

また昨年6月に改定した「低圧引込線以下工事標準作業マニュアル」によりインストラクター専門部会の指導のもと、各支部での昇柱訓練、基礎訓練を展開し、協力会社の技能、安全意識の向上に繋がったものと確信しております。しかしながら「ゼロ災達成」は作業に従事する方が主役であり、そして各社トップが真剣に安全活動に取り組んでこそ達成されるものであります。「安全文化」という言葉があります。安全を最優先するという価値観や行動様式を組織の全員が共有している状態の意味であります。是非とも各社が安全文化を構築して今年もゼロ災を達成していただきたいと思っております。

結びに、今年の干支は亥であります。猪突猛進しながらも足元を確認しながら着実に前進していきたいと思っております。

皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



## 新年のご挨拶

県青年部会長

齊藤 卓也

平成最後の新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

日頃は新潟県電気工事工業組合青年部活動に多大なるご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月には理事総会、そして支部間交流親善スポーツ大会を開催いたしました。理事総会は、組合創立70周年祝賀会と同日に開催され、組合のこれまでのあゆみを知り、今後に繋げる意識を新たにす機会となりました。また、スポーツ大会では、新潟支部青年部が主管となり、県下全13支部より115名の仲間が集い、競技や懇親会を通して仲間づくりが出来ました。スポーツ大会としては13回目の開催でしたが、競技中の怪我の問題等もあり、会員交流のあり方について、今後どの様な内容で展開していくかの検討を現在行っております。

7月には第3回東北ブロック会員大会 in 福島が開催され、新潟県青年部からは理事並びに支部会員合わせて38名参加しました。恒例の意見交換会では「10年後の電気工事のあり方・電気工事組合のあり方」をテーマに青年部ならではの意見を交わし、ここでも情報交換や仲間づくりができたのではないかと思います。

11月には上越にて移動理事会を開催しました。併催した経営セミナーでは、来年から始まる「有給5日取得」や就業規則等々の最新の話題を取り入れた内容でご講演頂き、自社の問題点や改善点を見つけるきっかけになる、実り多いセミナーとなりました。

12月には第3回全国青年部会員大会が東京で行われ、優良活動発表会では新潟県が東北で唯一の代表として「廃電線有効活用事業」を発表しました。

惜しくも入賞は出来ませんでしたが、この発表を通じてたくさんの他県青年部より内容についての問合せを頂き、大変嬉しく思っております。

このような様々な活動を通して、新潟県青年部会員一人一人の意識を高めることができたと考えております。これを各支部事業の更なるブラッシュアップに繋げ、青年部会員が所属する各社においても「青年部へ入れてよかった!」と言ってもらえるような事業を展開していきたいと考えております。

最後に、今年も業界並びに新潟県工組が素晴らしい佳き一年となりますよう、心よりご祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



## 地域懇談会を開催

平成30年度の地域懇談会が、三条支部並びに燕支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度2支部を廻って開催されるものです。

懇談会の司会は、三条支部では本山総務副委員長、燕支部では本間総務委員長、進行は両会場とも吉田副理事長ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業企業年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各事業委員長より担当委員会、青年部会長より青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

### 「三条支部」



本間支部長の挨拶

10月10日、三条市の銭心亭おゝ乃ガーデンテラスで三条支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他17名、三条支部より役員・組合員

他26名、合計43名が出席しました。

懇談会では、高圧需要家の新電力との手続き、新電力の低圧電灯需要家で発生した事例、デマンド契約、組合加入のメリット、若手人材確保、

各種アンケート・調査など結果のフィードバック、サイボウズの有効活用、外国人労働者の受け入れ、経営力強化、コンプライアンス、補助金活用、小中学校へのエアコン設置などについて、活発な意見交換が行われました。



三条支部組合員と意見交換

### 「燕支部」



原田支部長の挨拶

11月8日、燕市の燕三条ワシントンホテルで燕支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他18名、燕支部より役員・組合員他23名、合計

41名が出席しました。

懇談会では、組合加入のメリット、サイボウズの活用、青年部の位置付け、人材不足・事業

承継問題等、支部講習会開催、福利厚生制度の充実、青年部活動、普通高校等での交流事業の開催要望などについて、活発な意見交換が行われました。



燕支部組合員と意見交換

## 平成30年度 「今すべきことセミナー ～10年生き抜くために～」を初開催

経営企画推進委員会（山本進委員長）主催事業として、平成30年度「今すべきことセミナー～10年生き抜くために～」を11月26日（月）に新潟会場：電気工事会館、12月5日（水）に長岡会場：まちなかキャンパス長岡において開催、組合員他より新潟会場20名、長岡会場31名の計51名が受講しました。

本セミナーは、経営者・経営に携わる方を対象にしたセミナーで、講師に㈱パートナーズプロジェクト 代表取締役 高野 裕氏をお迎えし、社長の仕事や、10年先の会社の未来を見据えて、今後どのような備えをすべきかについて、



高野 裕氏

高野講師の豊富な経験を踏まえてお話いただきました。

受講後に回答頂いたアンケートでは「社長の仕事を再確認出来た。」、「経

営者としての心構え、仕組み作りを教えてくださいました。」、「高野講師の話しにとっても引き込まれ、あっという間のセミナーでした。とても面白かったです。」等、多くの受講者から好評の感想を頂きました。

長岡会場のセミナー終了後には交流会を開催。高野講師にもご出席いただき、受講者同士大いに親交を深めました。

経営企画推進委員会では今後も人材育成に関するセミナーを開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



長岡会場風景

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／  
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

# DAIHEN

# 株式会社ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212  
東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

## 中小事業所における経営者・管理者層のための 女性活躍推進セミナー（ワークショップ）

12月3日、総務委員会主催の「中小事業所における経営者・管理者層のための女性活躍推進セミナー（ワークショップ）」が、電気工事会館大会議室で開催されました。

このセミナーは、女性技術者の活躍の場を広げていくために、これまで男性中心に構成されてきた電気工事業界で、実際に現在電気工事や設計・積算業務に従事している女性社員と、経営者・管理者層として各支部役員等にご参加いただき、女性活躍について考えるきっかけとすることを目的に開催され、当日は女性技術者、支部役員、総務委員、事務局合わせて37名が出席しました。

当日は、総務委員会の星野、齊藤両委員がコーディネーターを務め、女性技術者の皆様からは、この業界に入ったきっかけや、現在どんな仕事に従事しているのかなどをご紹介いただき、その後、今後女性技術者が活躍していくにはどうすればいいのかについて経営者・管理者層との意見交換が行われました。

意見交換では、女性技術者からは「一般的には、電気工事は男性がする仕事というイメージ

なので、女性が入ろうと考えられていないが、実は、電気工事にもいろいろ種類があり、女性の方が向いている仕事もあるので、そこをアピールするべき。」「女性は産休・育休を取るため、採用を敬遠される傾向にあるのが現実ではあるが、家事や育児については女性がするものという固定観念もある。女性活躍を推進するのであれば、男性も家事や育児を行えるような雰囲気・体制づくりも必要である。」等の意見が出されました。また、経営者・管理者層からは「男女問わず募集をしているが、なかなか応募がない。」「女性の方が得意な業務内容をアピールしていくことが必要だ。」「小さな子供を持つ女性社員が、休みを取れるように配慮はしているが、男性社員は育児のための休みをとらないという先入観があった。今後は、男性社員も育児に参加できるような雰囲気作りをしていきたい。」といった意見が出されました。

女性技術者のみなさんからは、「こうして女性技術者で集まる機会がこれまでなかったので、同業者でいろいろな話できてよかった。」という感想が聞かれました。





## 第3回 電気工事技能競技全国大会

### 『目指せ“<sup>てっぺん</sup>頂点” 燃やせ熱き魂 競え極限の技』

#### 小嶋一彦選手（本間電機工業株：三条支部）が金賞・経済産業大臣賞を受賞

11月30日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、全日電工連技能競技委員会主管による第3回電気工事技能競技全国大会（以下、競技大会）が、東京・両国国技館で開催され、大会には一般の部30名、女性の部5名、高校生の部9名の総勢44名出場し、頂点を目指して競技に臨みました。

新潟県からは、第1回電気工事技能競技東北大会で金賞を受賞した小嶋一彦選手（本間電機工業株：三条支部）が一般の部に出場し、金賞・経済産業大臣賞を受賞して「JAPAN e SKILL CHAMPION」の称号が贈られました。

なお、会場の両国国技館には、開門と同時に全国の組合員、青年部、御来賓など約2,200名が応援・見学に駆けつけました。



会場前にて記念撮影

開会式では、来賓として出席した歴代チャンピオンから、自らの体験談を交えた選手への激励、チャンピオンフラッグ返還に続き、小林功副会長の開会宣言、米沢寛会長の主催者挨拶、各部門の代表者3名による力強い選手宣誓がおこなわれ、競技開始を告げるホイッスルが響き渡った会場では、各選手のKY（危険予知）で競技がスタートしました。

競技は技能競技（実技）と前日に実施された学科競技（非公開＝60分）の総合点で競われ、技能競技は課題に基づき競技パネルに作品を制限時間内（一般・180分、女性・150分、高校生・120分）に完成させるというものであり、約2,200名の大観衆が見守るなか、全国から選ばれた出場選手44名の日頃研鑽を重ねてきた技術力が十分に発揮され、熱戦が繰り広げられ



ました。そして、競技終了が告げられると、会場全体から選手全員を称える大きな拍手が鳴り響きました。普段の工事とは違った緊張感のなかでの競技だったこともあり、未完の選手も数名いましたが、各選手からは安堵の表情が見受けられました。

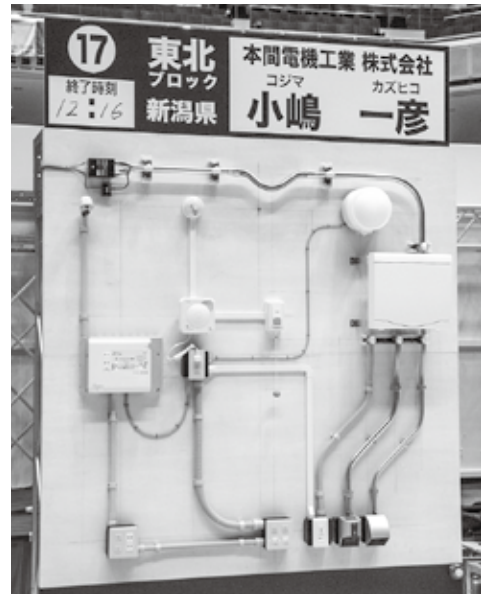
表彰式では、清原技能競技委員長の講評に続き、中野弘伸審査委員長（職業能力開発総合大学校名誉教授・工学博士）より審査結果が発表されました。前日に行われた学科競技も含めた審査の結果、一般の部では金賞・経済産業大臣賞には小嶋一彦選手（本間電機工業㈱・三条支部）が選ばれ、『JAPAN e SKILL CHAMPION』



金属管曲げ作業



一斉休憩



金賞受賞作品



小嶋選手と会社関係者



米沢会長よりチャンピオンフラッグを受け取る

の称号が贈られました。また、女性の部最優秀賞・国土交通大臣賞には高奈津美選手(九州電設(株)・熊本県)が選ばれ『JAPAN e SKIL LEDY'S CHAMPION』の称号が贈られ、高校生の部最優秀賞・文部科学大臣賞には新橋翼選手(県立玉造工業高校・茨城県)が選ばれ『JAPAN e SKIL JUNIOR CHAMPION』の称号が贈られました。その他、一般の部では銀賞2名、銅賞3名、安全作業大賞を1名が受賞しました。その後、来賓祝辞、花元副会長の閉会の言葉で表彰式は終了し、続いて交流会では、終始和やかな雰囲気の中、出場選手と全国の組合員・青年部の方々との交流が深められました。

各地区の予選を勝ち抜き、また推薦をいただき選抜された44名の選手のご健闘に敬意を表しますとともに、今大会の開催にご尽力された関係者の皆様に謝意を表します。



各部門の優勝者

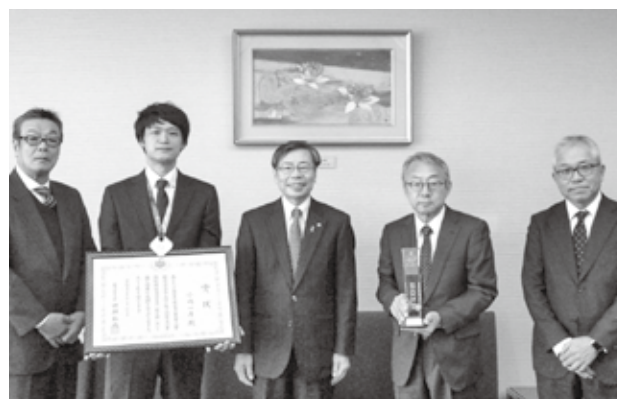
## 金賞・経済産業大臣賞受賞報告 高井副知事を表敬訪問

12月20日(木)、全国大会で金賞・経済産業大臣賞を受賞した小嶋一彦選手が、当組合の小林理事長、所属会社の本間社長と共に県庁に高井盛雄副知事を訪ね、受賞の報告を行ないました。

高井副知事から「新潟県に全国の頂点に立つ技術者がいることを誇りに思う」と、小嶋選手の功績を称える言葉があり、それに応えて、小嶋選手から「今後は後進の育成にも力を入れ、技術を教えて、後輩を金賞に導きたい」と、今後の抱負が述べられました。



金賞・経済産業大臣賞の受賞報告



高井副知事と記念撮影



## 平成30年度

**優秀施工者国土交通大臣顕彰**

去る10月5日、平成30年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の顕彰式が、東京都港区メルパルクホールで行われ、技術・技能が優秀で、後進の指



受賞者を代表して謝辞を述べる竹之内裕二氏

導・育成に努め、他の建設現場従事者の模範である施工者が「建設マスター」として顕彰された。

当工組より、株式会社荻荘電機 竹之内裕二氏が多くの電気設備工事に携わり、優秀な施工実績を残しているとして顕彰された。また、422名の建設マスター受賞者を代表して、竹之内裕二氏が石井啓一国土交通大臣に謝辞を述べました。

▼平成30年度  
優秀施工者国土交通大臣顕彰



株式会社 荻荘電機

工務部

竹之内 裕二 氏

(新潟支部)

## 第26回

**優秀施工者新潟県知事表彰**

去る11月12日、第26回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社荻荘電機 湯浅宏一氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第26回  
優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 荻荘電機

工事部

湯浅 宏一 氏

(新潟支部)

## 平成30年度

**消防設備保守関係者表彰**

去る11月1日、平成30年度の消防設備保守関係者等表彰式が、東京都港区明治記念館で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保守関係者として理事長の小林功氏が、地域社会における非常用予備発電設備及び消火器等の一般普及、並びに消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、一般財団法人 日本消防設備安全センター理事長から表彰された。

▼平成30年度  
消防設備保守関係者表彰

有限会社  
富士電気工事店  
代表取締役  
**小林 功 氏**  
(上越支部)

## 第32回

**消防設備保安功労者  
新潟県知事表彰**

去る10月30日、第32回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として村上支部の小池正司氏が、地域社会における住宅用火災報知機等の消防用設備の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第32回  
消防設備保安功労者新潟県知事表彰

有限会社 加賀屋電気  
代表取締役  
**小池 正司 氏**  
(村上支部)

**企業繁栄と****= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =**

東北七県電気工事業に従事する方々の  
よりよい福祉の向上を目指す。

**東北七県電気工事業企業年金基金**

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地  
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843



## 十日町支部

## 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレは、過疎高齢化の進む日本有数の豪雪地・越後妻有（新潟県十日町市、津南町）を舞台に、2000年から3年に1度開催されている世界最大級の国際芸術祭です。農業を通して大地とかわって来た「里山」の暮らしが今も豊かに残っている地域で、「人間は自然に内包される」を基本理念としたアートを道しるべに里山をめぐる新しい旅が、アートによる地域づくりの先進事例として、国内外から注目を集めています。前回2015年は約51万人の来場者数を記録し、約50億の経済効果や雇用・交流人口の拡大をもたらしています。

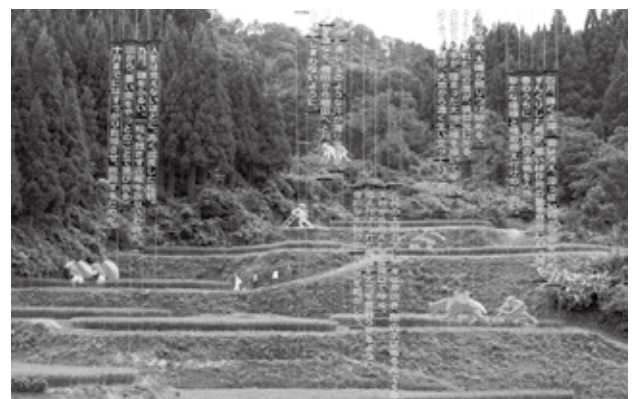
今回は、第7回展「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」が7月29日から9月17日にわたり開催されました。天候にも恵まれ、全国各地及び海外から非常に多くのお客様がご来場、約54万8千人の観光客で賑わいました。



清津峡トンネル

今回も、心に響く、数々の名作が誕生いたしました。デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動に贈られる「グッドデザイン賞」。この度、「大地の芸術祭

越後妻有アートトリエンナーレ」および大地の芸術祭の里の取り組みが、「グッドデザイン賞」を受賞し、「グッドデザイン・ベスト100」に選出されたのち、さらに特別賞「GOOD DESIGN GOLD AWARD グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」を受賞しました。



イリヤ&amp;エミリア・カバコフ「棚田」 撮影：中村脩

十日町電気工事協同組合は、妻有住まいを創る会の一員として、毎年季節に合わせたイベントを通し地域活性化に取り組んでいます。



「狗鷲庵」 小山真徳

大地の芸術祭は3年に1回だけではありません。1年を通して、季節に合わせたプログラムを開催しており、芸術祭で生まれた多くの資源を生かしてお客様のご来場をお待ちしております。

提供：大地の芸術祭実行委員会

NPO 法人越後妻有里山協働機構（新潟県）

## 佐渡支部

## 女川原子力発電所研修視察旅行

10月14日（日）、15日（月）と1泊2日のスケジュールで宮城県の女川原子力発電所の研修視察旅行に行ってきました。

女川原子力発電所は、三陸海岸の南端にある牡鹿半島の中ほど、宮城県牡鹿郡女川町と石巻市に立地しており佐渡からの研修は強行スケジュールとなりました。東北電力㈱新潟支店企画管理部門総務広報グループ様、佐渡電力センターお客さまサービス課様のご案内のもと佐渡支部からは13名が参加しました。

1日目に女川原子力発電所の視察となりました。朝7時に佐渡汽船両津港に集合し、1番のジェットフォイルに乗り、新潟港から東北電力㈱様が手配していただいたバスに乗り込み女川原子力発電所を目指しました。

女川原子力PRセンターに着くと原子力発電のしくみをパネルや模型、映像などでわかりやすく説明していただきました。

本題の原子力発電所施設内に入るには事前に見学者名簿の提出が必要となり、当日にも各自持参した身分証明書と相違がないか警備員の方が確認し、貴重品を預け、カメラ等の撮影も禁止されていました。

14日は日曜日ということもあり、安全対策の工事はお休みでとても静まりかえっていました。しかし、今現在発電所で働かれている人数は東北電力社員が520名、協力企業社員が2,200名ということです。一番印象に残ったのは防潮堤です。海拔29メートルになり長さは800メートルにわたって設置されていました。このような「津波」の備えの他、「地震」「電源」「冷却」「閉

込」※の備えで何重にも設備の対策をしていました。（※「閉込」放射性物質を発電所内に閉じ込める機能を持つ「原子炉格納容器」および「原子炉建屋」を破損させない等の対策）



女川原子力PRセンターにて集合写真

2日目には福島県の二本松市により菊人形を観光しました。昼食は本宮アサヒビール園によりジンギスカンをいただきました。



菊人形作りの様子

今回の研修旅行は東北電力㈱佐渡電力センター様の協力によって実現し、とても貴重な経験をさせていただき有難うございました。

県青年部

## 平成30年度 移動理事会

県青年部（齊藤卓也会長）は、11月9日にホテルハイマートにて移動理事会、合同委員会を開催し、県青年部理事・監事・顧問24名、事務局2名の計26名が出席しました。移動理事会では、議長に新野直樹（魚沼支部）を選出し審議を行い、移動理事会に続いて各委員会が開催されました。



齊藤県青年部会長

各議案については下記のとおりです。

〔移動理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

〔交流・情報委員会議案〕

(1) 今年度事業の具体的推進について

- ①青年部支部間交流親善スポーツ大会(in新潟)の反省と次回(in小千谷)へ向けて
- ②今後の支部間交流親善スポーツ大会のあり方について



移動理事会

③会員名簿作成（隔年）について

(2) その他

〔経営・技術委員会議案〕

- (1) 今後の県青年部委員会のあり方について
- (2) 今年度事業の具体的推進について

また移動理事会・合同委員会終了後、県青年部と新潟県中小企業団体中央会共催による「平成30年度青年部経営セミナー」を開催し、上越支部青年部会員を加えた計31名が出席しました。



大堀講師

はじめに加藤経営・技術委員長による講師紹介ののち、『働き方改革』『ワークバランス』の行くつく先は？～成功失敗事例を新潟

県内企業から学ぶ～』と題して、ファザーリング・ジャパンにいがた代表 大堀正幸講師をお迎えしご講演いただきました。終了後は懇親会を開催し、講師にもご臨席いただき、参加者は大いに交流を深めました。



経営セミナー



## 第3回 全国青年部会員大会

12月1日（技能競技全国大会翌日）、東京ファッションタウンビル 西館 2F TFT ホール 1000 にて第3回全国青年部会員大会が『Shift to Next』～更なる進化を目指し、一つ上の青年部へ～』をテーマに開催され、全国より約600名の青年部会員が「作業着」で集結し、当青年部からは24名が参加しました。



第1部創立20周年記念式典では、全国青年部協議会中島会長から歴代会長への感謝状の贈呈や、20周年を記念して作られた青年部旗が、全日電工連米沢会長から中島会長へ手渡されました。第2部青年部優良活動発表会では、事前に全国各ブロックから「Shift to Next 部門」「新規事業部門」の2部門へエントリーされた多くの事業の中から、当日は最終選考に残った10事



業の発表が行われました。

当青年部は Shift to Next 部門に「柏崎・十日町支部 第1回優良事業発表から 兵庫県尼崎支部発→新潟県内展開 廃電線有効活用事業」でエントリーし、最終選考に残り発表を行いました。

今回は、平成26年の第1回大会の兵庫県尼崎支部の発表会がきっかけとなり、柏崎支部を皮切りに県内で事業展開された廃電線有効活用事業について、大島博理事（十日町支部）より発表が行われました。

残念ながら入賞は逃しましたが、県内外からこの事業の詳細について、問合せをいただいております。

また今回発表された10事業の活動は、どれも発表内容のレベルが高く、青年部活動の参考になるものばかりでした。こうした青年部ネットワークが十分に活かされ、各種事業が各地で推進・展開してき、電気工事業界の活性化に繋がっていくことが期待されます。

第3部は、青年部恒例の意見交換会が「認知と定着について」をテーマに行われました。今



回は女性参加者を集めたテーブルが用意されました。こうした動きは、前回の活動発表で最優秀賞を受賞した「新潟電工ガールキャンペーン」から始まり、全日電工連で展開している「女性活躍推進事業」に繋がっているのだと思います。



その後、優良活動表彰式・懇親会が行われ、前回からバージョンアップした「作業着ファッションショー」が開催され、東北ブロック新潟県からは三野敏弘県青年部会計（三条支部）と樋口美和理事（十日町支部）が出演し、ランウェイを盛り上げました。樋口理事は、事前に募集された作業着アイデアに応募し、今回、メーカーの協力で製作されたオリジナルデザインの作業着を着用しての登場でした。この会員大会は全

国の青年部の様々な活動を知ることや、意見交換や懇親会において交流を深めることができる貴重な機会となっており、今回も大盛況で幕を閉じました。



## 地震時の通電火災対策に、 パナソニックの「感震ブレーカー」。

**Panasonic**  
Homes & Living

グラツときたら自動OFF。しかも燃えにくい材質で、  
安全性の高い分電盤です。

- 震度5強以上で主幹ブレーカーを強制遮断
- ドアカバーが水平着脱でき施工性が向上<sup>※</sup>

※スマートコスモのみ

**感震ブレーカー付 住宅分電盤**



感震ブレーカー

毎日が、  
備える日。

A Better Life, A Better World

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所  
〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL 025-260-7711

## 新潟支部青年部

## 先進地視察で大阪へ！

新潟支部青年部では、11月9日～10日に先進地視察で大阪へ行ってきました。参加者は14名、視察先はパナソニックミュージアムです。

まず、ものづくりイズム館を見学。施設に入ると収蔵庫には、歴代の家電製品（テレビ・ラジオ・冷蔵庫など）が約300点展示しており、当時の開発者の苦労や熱意が感じとれるように紹介してありました。他にも、暮らしを豊かにしてきた家電製品を6つのテーマ「家事楽」「思いやり」「感動」「自由」「安心」「新定番」に分けて展示してあるギャラリーもあり、松下幸之助の思いや時代のニーズに呼応してきたパナソニックの取組みを感じることができました。

次に、隣にある創業者松下幸之助の歴史館を見学。施設の中は、松下幸之助が歩んだ94年の人生を7つの時期に分けて年代順に展示しており、当時の工場の様子が再現してあったり、電灯事情やアタッチメントプラグの製造工程の紹

介、ミニシアターを使った映像コンテンツがありました。今年で“創業100周年”となるパナソニックの貴重な歴史映像や松下幸之助の『行き方・考え方』を深く学べる施設となっていて、とても勉強になりました。時代背景もあるとは思いますが、松下幸之助のアイデアや行動力は素晴らしいと思いましたし、人をまとめる力や周りの人からも慕われていたことがよくわかりました。

パナソニックミュージアムの見学レポートみたいになってしまいましたが、今回は大阪ということで、2日目はなんばグランド花月へ行き吉本新喜劇も鑑賞してきました。さすがよしもと！笑った笑った！参加者全員おもしろかったと言っていました。

みなさんも大阪へ遊びに行ったときにはぜひ、パナソニックミュージアムと吉本新喜劇へ！おすすめです！





## 十日町支部青年部

## 青年部を楽しもう！電気工事業を盛り上げよう！！

2018年の夏は全国的に記録的な猛暑が続き、冬は雪に閉ざされる十日町も連日40℃近い気温でした。

猛暑も過ぎ去った9月、4回目となる「十日町協力業種4団体交流会」に参加いたしました。4回目ともなると顔見知りも増え、また新規事業を立ち上げた方や事業継承された方もおり、盛況でした。

今回は当青年部が担当ですので、十日町地域のより多くの方に参加していただけるよう準備いたします。

10月には、中高生を対象とした地元企業の周知イベント「まちの産業発見塾」で十日町支部青年部として「電気のお仕事」について動画を交えて説明をいたしました。

「高いところが好きじゃないとダメですか？」「女子でも出来ることがありますか？」と沢山の質問に答えながら、生徒さんたちと交流でき、次回も必ず参加したい取り組みでした。

また、12月には「第3回全国青年部会員大会」の青年部優良活動発表会で、当青年部大島会長が東北ブロック代表として、廃電線有効活用事業についてプレゼンいたしました。

この事業は、組合のネットワークを活かし、廃電線を活用する仕組みづくりにより、福祉作業所での作業量と収益の確保などの社会貢献に繋がる取組で、兵庫県尼崎支部での実施事例を参考に県内では柏崎支部に続き、十日町支部でも

スタートし、これから長岡支部でも始まろうとしております。この取組が今後多くの支部で実施されることを願っています。

今年の2月には「白い愛の祭典・十日町雪まつり」が開催されます。毎回子供達から大好評の「雪の滑り台」を東北電力㈱十日町営業所内に青年部メンバーで作成いたします。

同所では「無料休憩所」を開設、高所作業車の乗車体験も実施予定です。滑り台や大きなかまくらは毎回撮影をする方の人気スポットとなり、今回はインスタ映えを狙い青年部員で色々と知恵を出し合って企画しておりますので、是非雪国十日町の祭典にご家族で遊びに来てくださいね。

写真は今年度の忘年会です。OB会員の方からもご参加いただき、楽しい夜になりました。



## 佐渡支部青年部

## 今年度活動報告

皆様おつかれさまです。平成最後の年も残り僅かとなりました。

各支部いろんな活動をしたのではと思います。さて、我が佐渡支部青年部の今年度活動は、毎年恒例となった第二種電気工事士の実技指導を行いました。今回で4年目となり、指導の仕方もだいぶ慣れてきたのではという感じです。今年度は4名の実技試験受験者と少なかったですが、無事全員合格出来たこと喜ばしく思います。

他の活動としましては、ボランティアの海岸清掃や各祭りの手伝いなどを計画していましたが、今年度は皆多忙のため何も出来ないまま1年が終わってしまいました。(汗)

もう書けることが全くないという状況のなか、急遽忘年会を開くことになりましたので少々そちらを書きたいと思います。(笑)

つい先日開かれた忘年会では急にもかかわらずほぼ全員集まってくれました。

さすがお酒好きの皆様です。(笑)

だいぶ人数も減ってきましたが、佐渡支部青年部は皆和気あいあいと飲んで喋って楽しい忘年会を送っています！2次会、3次会ではどうなっているかわかりませんが、かなりはじけているのではないのでしょうか。



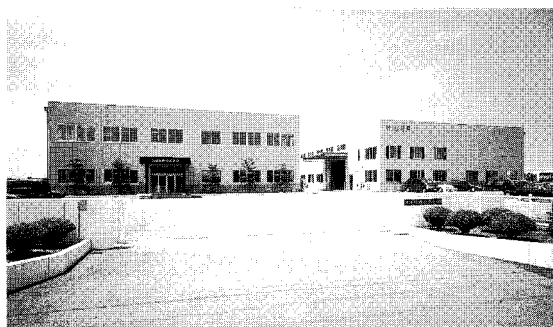
佐渡で飲みたい！という方がいらっしやいましたら是非参加しにきてください！(笑)

佐渡支部青年部はこれからも「仲良く楽しく！」をモットーに活動していきたいと思えます。

以上です！



## 先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



### 三浦電機株式会社

代表取締役 小名 隆一

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381  
 FAX (025) 274-0385  
 柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739  
 東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

## 新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気工事技術講習センター』にご登録していただいている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-1587



### 平成30年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場
平成31年 2月22日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
2月27日(水)	燕三条地場産業センター メッセピア 5階 総合研修室
3月15日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室

### 平成31年度 第一種電気工事士定期講習会開催 (予定)

開催日	会場
平成31年 5月8日(火)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
7月5日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
7月30日(火)	燕三条地場産業センター メッセピア 5階 総合研修室
9月4日(水)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
10月24日(木)	燕三条地場産業センター メッセピア 5階 総合研修室
11月17日(日)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
11月26日(火)	新潟テルサ 3階 大会議室
12月3日(火)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
12月18日(水)	燕三条地場産業センター メッセピア 5階 総合研修室

※平成31年度開催日は予定となります。変更となる可能性もございますのでHPをご覧ください。

このあと2月に3回、3月に1回予定しております。

皆  
様  
へ  
組  
合  
員  
の

なるべく新潟県電気工事工業組合受付の講習会を受講  
していただけるようご協力お願いいたします。



## 2019年度 消防関係試験実施計画

### 1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
2019. 6. 1 (土)	2019. 4. 9 (火) ～4. 23 (火)	2019. 4. 12 (金) ～4. 26 (金)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 佐渡市
2019. 9. 1 (日)	2019. 7. 16 (火) ～7. 29 (月)	2019. 7. 19 (金) ～8. 1 (木)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
2019. 11. 23 (土・祝)	2019. 10. 8 (火) ～10. 25 (金)	2019. 10. 11 (金) ～10. 28 (月)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市
2020. 3. 7 (土)	2020. 1. 14 (火) ～1. 28 (火)	2020. 1. 17 (金) ～1. 31 (金)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市

### 2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
2019. 6. 22 (土)	2019. 5. 7 (火) ～5. 21 (火)	2019. 5. 10 (金) ～5. 24 (金)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
2019. 10. 13 (日)	2019. 8. 20 (火) ～9. 3 (火)	2019. 8. 23 (金) ～9. 6 (金)	甲種 特 類 甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
2020. 3. 15 (日)	2020. 1. 21 (火) ～2. 4 (火)	2020. 1. 24 (金) ～2. 7 (金)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

#### (一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。  
 ※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

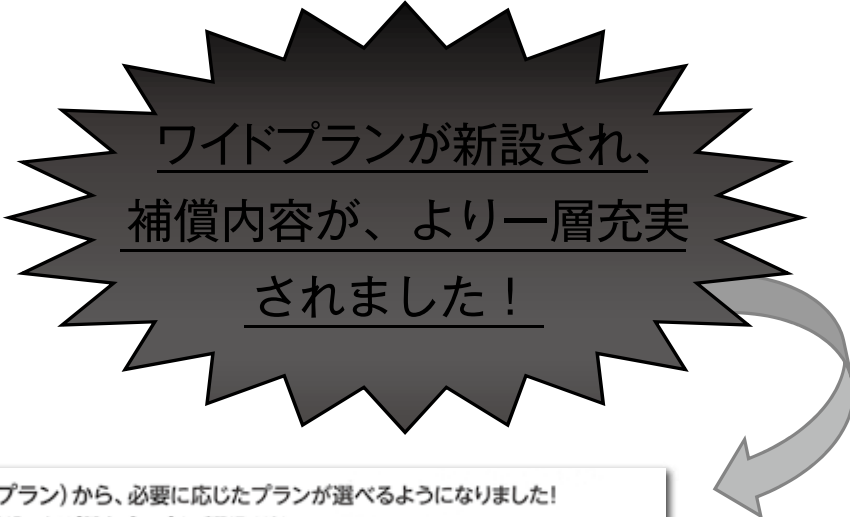
〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

T E L 025-285-7774 F A X 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

# 組合の保険って??

2019年4月1日からの保険制度

## 全日電工連認定損害保険制度



**ポイント 1** 2つのコース(基本プラン・ワイドプラン)から、必要に応じたプランが選べるようになりました!

- これまでの補償内容と同等の内容をご希望の方は【基本プラン】をご選択ください。
- 追加の補償をご希望の方は【ワイドプラン】をご選択ください。

現行 第三者損害賠償制度 → 改定 → 第三者損害賠償制度 **基本プラン** (新設) / 第三者損害賠償制度 **ワイドプラン** (新設)

**ポイント 2** 【基本プラン】では、これまでの補償に、受託品(リース品、レンタル品等)のカバーが追加されました。しかも、保険料は据え置きで変更ありません。

これまでは補償対象となっていなかった「受託品(リース品、レンタル品等)」について、補償の対象となりました。保険金額は「特定財物賠償保険金額」の内枠となりますので、保険金額の見直しを忘れずにお願いします。

**ポイント 3** 【ワイドプラン】では、【基本プラン】に加え、これまで補償の対象とならなかった「財物損壊を伴わない使用不能損害」と「生産物自体の損害」、および「人格権損害」を補償しています。

「財物損壊を伴わない使用不能損害」と「生産物自体の損害」の保険金額は「特定財物賠償保険金額」の内枠となりますので保険金額の見直しを忘れずにお願いします。なお「人格権損害」の保険金額は1,000万円となります。

**発注者からの要望にお応えできます!**

近年増加する、発注者さまより各種特約のセットを要請されるケースに対応するためオプションとして、発注者さまの要望に応えられる特約をご用意しました。また、重複して複数の契約を結ぶ必要がないので、大幅なコスト削減ができます。

**財物損壊を伴わない使用不能損害**

**3倍**

スマートメーター(支給材)の取り付けの際、誤結線してしまい、スマートメーターの誤作動により、電気代が3倍となった。後日、発注者から差額について賠償請求された。

太陽光発電パネル(支給材)の設置の際、誤接続してしまい、発電ができなかった。後日、発注者から発電できずであった電気代について賠償請求された。

**引渡し後の生産物自体の損害**

工場配電盤の設置工事後、誤結線により、工場を全焼させてしまった。その際、配電盤も損傷した。(生産物自体の損害以外の第三者損害が発生している場合に限ります。)

**人格権の損害**

エレベーターの改修作業後、工事不具合によりエレベーターが止まってしまったため、人を閉じ込めてしまった。

2019年4月1日からの保険制度

# 全日電工連認定生活総合保険制度

役員・従業員の皆様、そしてご家族の皆様へ

とてもお得な保険制度です。  
是非、この機会にご検討下さい。

個人賠償責任補償が新設！

全日電工連認定生活総合保険制度 加入申込書告知書

1. 加入者情報

2. 家族情報

3. 加入内容

4. 特約内容

5. 備考

加入申込書が付いています！

全日電工連認定生活総合保険制度のご案内

2019年度

もともと、生命保険や医療保険に入っている。

働き続けたい方が一かたがたの都合に  
働けなくなる(収入)に上乗せで、半額心遣いできるような補償を  
ご用意しました。保障のみなさまにもご案内ください。

そんな方に  
“特に”おすすです！

- 個人賠償責任補償
- 所得補償
- 介護補償
- がん補償

「4つの補償」が  
あなたと、ご家族の生活を守ります。

4つの補償は、それぞれ個別でも  
ご加入いただけます。

※本会が主催する「全日電工連認定生活総合保険制度」は、全日電工連認定生活総合保険制度(株)が主催するものです。  
※本会が主催する「全日電工連認定生活総合保険制度」は、2019年4月1日より2020年3月31日まで1年間  
の期間限定で、年齢・性別・職業・収入・所得・所得控除額により、加入資格が異なります。  
※加入者、加入者ご家族の加入資格は、本会のホームページでご確認ください。

全日本電気工業労働組合連合会

2019年3月1日からの共済制度

# 全日電工連グループ共済制度

2019年度版(概算版) 全日電工連の生命保険

本パンフレットを一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連  
グループ共済制度のご案内  
(災害保障特約付 団体定期保険)

24時間保障!  
いすの補償も充実し保障が  
変わります!!  
※補償額が最大10  
万円に引き上げ

新規加入年齢を  
変更!!(増口含む)  
65歳  
→  
70歳

継続加入年齢を  
変更!!(10口を超過)  
75歳  
→  
80歳

記載の料金は概算値です。  
※本会が主催する「全日電工連認定生活総合保険制度」は、全日電工連認定生活総合保険制度(株)が主催するものです。  
※本会が主催する「全日電工連認定生活総合保険制度」は、2019年4月1日より2020年3月31日まで1年間の期間限定で、年齢・性別・職業・収入・所得・所得控除額により、加入資格が異なります。  
※加入者、加入者ご家族の加入資格は、本会のホームページでご確認ください。

全日電工連 共済制度 01(災害保障特約付)が新設されます!  
※2019年度 概算版の内容です。詳細は本会のホームページをご覧ください。

全日本電気工業労働組合連合会

年齢に応じた掛金体系で、  
保障内容も充実!  
また、新年度は、新規・継続の  
加入年齢が引き上げされました!



## 組合員の異動

平成30年11月理事会報告分

日付		支部	
H31. 3. 31	脱退	佐渡	(有)長嶋電気商会

## 組合員の変更

平成30年10月～12月組合受付分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	プライムテック(株)	代表者	片野 勉	片野 豪
長岡	(株) 関矢電気	代表者	関矢 幸子	関矢 武範
	トウヨウ(株)	代表者	田中正樹	水澤 隆彦
	(株)ヒライデンキ	商号	ヒライデンキ	(株)ヒライデンキ
代表者		平井 義雄	平井 賢司	
小千谷	(株)阿部電機興業	商号	(株)阿部電機	(株)阿部電機興業
		代表者	阿部 むつ子	小柳 直太郎
魚沼	坂西電気店	代表者	坂西 誠	坂西 隆行
		住所	魚沼市田戸45-4	魚沼市田戸550
		TEL	025-794-2289	025-794-3870
十日町	信栄電機工業(株)	代表者	入田 恒雄	太田 克之

編集発行：新潟県電気工事工業組合


〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

&lt;管理部門&gt; TEL 025(229)4101

&lt;資材部門&gt; TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創



**今日の段取り  
任せても  
自分の安全  
任せるな！**

〈安全標語〉 新発田支部 (株)ライフ・シバタ 雪井 忠彦

**新潟県電気工事工業組合**